

映画の解説をする植村教授=4月24日



『疎開した40万冊の図書』上映会

学生ら400人鑑賞
映画『疎開した40万冊の図書』の上映会が4月24、25の両日、生田キャンパスで開催され、学生、市民ら約400人が鑑賞した。

映画は、第二次世界大戦中の1944年から45年にかけて、東京・日比谷図書館の蔵書を、戦火から守るため疎開させた史実を追ったドキュメンタリー(2013年)。

戦況の悪化で本を運ぶ人手や道具も不足するなか、都立一中(現・日比谷高)の生徒らが、日比谷図書館の蔵書を、戦火から守るため疎開させた史実を追ったドキュメンタリー(2013年)。

森絵都さん講演会 図書館関連 企画第2弾
5月22日(水)15時から、講師に作家の森絵都さんを迎え、専修大学創立140周年記念/文学部ジャーナリズム学科設置記念の講演会「自由に書くこと、語ること」を開催する。

2020入学ガイド

本学の学びの特徴や学部学科の特色、キャンパス情報、就職や資格取得の支援体制、入試情報などを紹介する「2020入学ガイド」=写真=を5月下旬から配布します。ご希望の方は入学センターインフォメーションまでお問い合わせください。

【神田キャンパス】 ☎03・3265・6677
【生田キャンパス】 ☎044・911・0794
【専修大学HP】 <https://www.senshu-u.ac.jp/admission/digital.html>

ネットワーク情報学部創設20周年 技術と社会の発展に寄与



学部長 松永賢次ごあいさつ
ネットワーク情報学部は、今世紀のスタートとなる2001年に、来るネットワーク社会を支える知識・技術を有する創造的な人材を送り出すために、経営学部情報管理学科を改組する形で創設されました。



インタラクティブデザイン基礎演習の授業で、仮想のウェブサイトを作るためのワークショップに取り組み学生たち

記念事業募金ご協力をお願い

【募金目的】ネットワーク情報学部学生の教育の充実のため
【募集期間】2021年3月末日まで
【お問い合わせ】ネットワーク情報学部創設20周年記念事業実行委員会事務局
E-mail: net-20th-anniv@isc.senshu-u.ac.jp
▽募金の方法・免税について 募金局 ☎03・3265・3157
※詳細は<https://www.senshu-u.ac.jp/education/faculty/network/20th-anniv.html>

りますが、技術と人間社会をバランスよく発展させることを大事にしてきた本学部への期待は、非常に大きいと感じております。

20周年記念事業では、これまで本学部が成してきたことを振り返り、それを元にも未来に向けてどのようなチャレンジをしていくべきか、卒業生、在学学生、そして本学部に期待を持っていただいている方々とともに考えてまいります。

飯教授(左端)をはじめ執筆者代表が登場した



この後、出版に携わった裁判員経験者や法曹関係者、学生、市民団代表らが発言。現在弁護士で司法試験合格前に裁判員になった花田弘介さんは「裁判員を経験し、裁判員ラウンジに参加し、この体験を弁護士として生かしたい」との使命感が

『あなたも明日は裁判員!』
裁判員制度が始まって今年で10年を迎えたのを機に、法学部の飯考行教授(法社会学)と裁判員経験者、法曹関係者らが書籍『あなたも明日は裁判員!』(下段に紹介記事)を出版した。その記念シンポジウムが4月20日、神田キャンパスで開催された。

高まった」と述べた。本学大学院法学研究科2年次の杉崎千春さんは、法学部の学生だった当時から飯考行教授のラウンジに参加し、「ラウンジでは裁判員経験者、一般の市民、弁護士に加え、裁判員も参加したことがある。質問に答えてもらい、司法との距離感が縮まった」と話した。

専修人の新し木
あなたも明日は裁判員!
飯考行・裁判員ラウンジ編著
裁判員を務めたくないという市民は多い。敬遠には、裁判員制度が身近でなく、漠然とした不安感が広がっている。本書は、当事者の声に耳を傾けて、裁判員裁判の実情と成果を知るきっかけになろう。(日本評論社 本体1700円+税)
著者(いい・たかゆき) 法学部教授。法社人)による記述は、日常

日本の金融システム
小藤康夫著
銀行であれ保険会社であれ、ある程度の利益を確保しなければ経営はいずれ行き詰まってしまふ。健全な経営を展開するうえで利益の確保は経営の大前提である。ところが、2013年4月に日銀の異次元緩和策が始まると、超低金利の運用環境から銀行も保険会社も十分な利益を確保するのが難しくなっ